

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案、3年度各会計決算および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、29日の本会議で報告しました。

総務 常任委員会

4年度一般会計補正予算、盛岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正など議案6件と、3年度国民健康保険費特別会計歳入歳出決算など認定6件について審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願2件を審査し、いずれも採択すべきものと決まりました。

【議案第91号】

盛岡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

問 会計年度任用職員の育児休業の取得状況と、取得しやすい環境整備に向けた取り組みは。

答 3年度は、取得可能だった11人のうち10人が取得した。育児休業が取得しやすい環境づくりとしては、ガイドブックを作り研修などで説明しているほか、行動計画を作り育児休業取得に向けた取り組みを全庁に発信している。また、可能な限り代替職員の配置も行っている。



【認定第5号】

令和3年度盛岡市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算について

問 国民健康保険制度は事業主負担がないため、他の保険制度に比べ被保険者の負担が重い。法定減免のほかに、市が要綱を定めて実施している国民健康保険税の減免の実績は。

答 3年度の実績は、所得減少による減免が2件である。所得減少による国民健康保険税の減免制度については、必要とする人が活用できるよう、減免制度の周知に取り組む

教育福祉 常任委員会

4年度一般会計補正予算など議案6件と、3年度一般会計歳入歳出決算など認定5件について審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願4件を審査し、2件については不採択とすべきものとし、2件については引き続き調査検討を要するため、継続審査と決まりました。

【議案第88号】

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 新型コロナウイルスに対応する抗原定性検査キットの使用目的と今後の検査体制の周知は。

答 医療現場がひっ迫した場合、受診に代えて検査キットを配付し、有症状者自らが検査を実施することで医療現場のひっ迫を緩和することが目的で、県でも有症状者本人の申し込みで、検査キットを無料で自宅に送付する事業を行っている。検査体制などの変更についてはホームページで周知する。

【認定第1号】

令和3年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 家庭生活支援員の派遣実績は。また、利用件数の増加につなげるため、利用しやすい制度になるよう改善しては。

答 派遣実績は延べ18件あった。利用料が低く、利用者負担が少ない事業であることから、急な利用に備えた事前登録を周知するほか、委託先の市ファミリーサポートセンターなどと調整し、利用しやすい仕組みを検討し、利用件数の増加につなげる。



家庭生活支援員の利用環境改善を

産業環境 常任委員会

4年度一般会計補正予算など議案3件と、3年度一般会計歳入歳出決算など認定4件について審査しました。審査の過程で、リサイクルセンター施設改修事業の内容と施設や設備の老朽化の状況などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第88号】

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 リサイクルセンター施設改修事業の内容と施設および設備の修繕計画は。

答 グレートバーという破砕機の部品とトラックスケールの修繕を行う。3年度に清掃関連施設個別施設計画を作成し、計画的に修繕することで施設の延命化を図っていくこととしているが、リサイクルセンターは建設が昭和50年代と古い施設であることから、更新も見据えて検討する。



修繕が行われるグレートバー

【認定第1号】

令和3年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 市芸術文化ポータルサイト開設による成果と課題は。

答 4年2月にサイトを開設してから半年で5万1千件を超えるアクセスがあった。登録団体数は126団体で、団体の活動状況やイベント情報の発信に活用されている。芸術文化関係団体の3割程度の登録にとどまっていることから、登録団体数増加に向け、インターネットが不得手な人への登録支援やサイト周知に取り組む。

建設 常任委員会

4年度一般会計補正予算など議案7件と、3年度一般会計歳入歳出決算など認定6件について審査しました。審査の過程で、交通系ICカードの導入が見込まれるバス路線や、3年度に防護柵を設置した市道などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第88号】

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 交通系ICカードの導入予定台数の増加を見込むが、当初の導入計画との関係は。また、同じ営業所の車両を一括してICカード対応にすることで乗客の利便性が向上すると考えるが、所見は。

答 当初は73台分だったが、20台分を追加する。バス事業者からは、従来型のバスカードとICカードの混在が発生しないよう、4年度は滝沢営業所の車両への導入を検討していると聞いている。

【認定第1号】

令和3年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 3年度に交通安全施設等整備事業として防護柵を設置した路線は。また、地域から要望があった箇所は計画的に対応すべきだと考えるが、所見は。

答 山岸児童センター付近での交通事故を受け山岸地区の1路線に設置した。生活道路におけるガードレールなどの設置要望は状況を確認しながら対応しているほか、通学路緊急点検による設置必要箇所については順次対応を検討する。



地域要望に対応した防護柵設置を

議会活動レポート

各委員会が行政視察などを実施

総務常任委員会

7月13日から15日まで視察を行いました。群馬県前橋市では、行政手続きなどのデジタル化を進めるための前橋市DX推進計画の取り組み状況や、空き家対策のための前橋市空家等対策計画の進捗状況について、栃木県小山市では、移住・定住や市民と多様に関わる関係人口増加のための取り組みや、3年3月に完成した新市庁舎の整備事業について、栃木県宇都宮市では、移住・定住を促進するためにテレワークとワーケーションを組み合わせた「みやテレワーケーション」などの取り組みや、空き家対策として官民が連携して組織する「宇都宮空家会議」で行っている事業や成果などについて、それぞれ説明を受けました。



新市庁舎の整備状況を調査

教育福祉常任委員会

7月13日から15日まで視察を行いました。北海道函館市では、石川啄木をはじめとした先人教育に関する取り組みとして函館市文学館で行っている石川啄木関連資料の常設展示や直筆資料特別展、函館ゆかりの偉人をアイドルキャラクター化した「HAKOMEN」による観光PRと、軽度認知症スクリーニングテストの実施や認知症予防の取り組みとして楽しみながら気軽に介護予防に取り組む「はこだて賛歌 de 若返り体操」の作成・普及などについて、青森市では、ボランティア活動をしたことのない市民が参加しやすいように創設された青森市ボランティアポイント制度の実施状況などについて、それぞれ説明を受けました。



ボランティアポイント制度を調査

議会広報委員会

6月30日と7月1日に視察を行いました。神奈川県横須賀市では、市議会公式ツイッターの運用と議員が分担して記事を作成する議会広報紙の編集について、東京都あきる野市では、議会広報紙を大幅にリニューアルした経緯と特集記事の編集方法について調査しました。リニューアルに当たっては、表紙や特集記事で読み手の興味を引くことや、余白を生かした紙面や視線のスムーズな移動を意識した記事の割り付けを重視したこと、特集記事は市民と座談会を開催して意見交換し、その内容から作成していることなどについて説明を受けました。



伝える議会広報を目指して

農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会を実施

7月20日に勉強会を開催し、「地域おこし協力隊としての活動について」を演題に、市地域おこし協力隊の知念侑希氏と山代森氏から説明を受けました。「猟師×農業で切り拓く！ヒトと野生鳥獣が共存する地域づくり」をテーマに活動する知念氏からは、これまでの有害鳥獣対策の取り組みと活動を通じて感じた市の有害鳥獣対策の課題について、「金山の里・大ケ生地域における山里暮らしのモデル構築」をテーマに活動する山代氏からは、これまでの地域活動と今後の取り組みについて、それぞれ説明を受けました。

産業環境常任委員会

7月13日から15日まで視察を行いました。静岡県富士市では、中心市街地の空き店舗への出店を促進し次代のまちづくり人材を育成するための取り組みや、不動産のオーナーなどに対して遊休不動産の活用・再生の推進に向けた意識付けを行うための取り組みについて、新潟市では、コロナ禍における誘客促進のための取り組みや、古町芸妓の文化継承のための取り組みと芸妓を活かした観光施策について、新潟県十日町市では、再生可能エネルギーの普及に向けた取り組みや、福祉施設などの事業所で発生する使用済みの紙おむつをペレット化し、バイオマスボイラーの燃料とする使用済み紙おむつ燃料化実証事業について、それぞれ説明を受けました。



紙おむつを燃料化しごみ減量

建設常任委員会

7月13日から15日まで視察を行いました。新潟県長岡市では、市役所機能をあえてまちなかに分散配置することによりまちなかの回遊性やにぎわいを創出する取り組みや、歩道を有効活用しテーブルや椅子を設置したオープンカフェ事業によりまちなかににぎわいを創出する取り組みについて、埼玉県草加市では、パトロールカーに搭載したスマート端末を活用し路面状況のデータを収集することにより、業務効率の向上を図る取り組みについて、東京都府中市では、道路や街路樹などの複数の管理事業を一括で民間事業者へ委託する包括管理事業による市民サービスの向上や経費削減効果、今後の運用について、それぞれ説明を受けました。



スマート端末を活用した道路維持

持続可能な地域づくり特別委員会

8月3日に勉強会を開催しました。「性的マイノリティのメンタルヘルス問題と自死予防」に関するE S T Oの取り組みの現状・課題などについて、性と人権ネットワークE S T O代表の真木証鷹氏を参考人として呼び出し、性的マイノリティの現状や性的マイノリティが日常で生きづらさを感じることなどについて説明を受けた後、小学生などに対する性的マイノリティに関する教育の在り方などについて意見交換を行いました。

市政調査会臨時研修会を実施

8月8日に研修会を開催しました。青森大学社会学部教授の佐藤淳氏から「地方議会の不易流行〜ICTを活用した議会の新しい姿〜」と題し、全国の地方議会におけるタブレット端末の活用事例や、オンライン会議・視察の事例などについて講演を受けました。また、市民との意見交換などで効果的な手法とされる「ワールドカフェ」について、議員が実際に体験し運営方法を学びました。



ワールドカフェ方式を体験